



えんだより

令和7年1月
旗川幼稚園

うさぎぐみ

体操教室では指示を理解して行動しようと頑張っている姿、製作でははさみを使って製作する様子をご覧いただきました。何より、クラスのお友だちとどのようにかかわっているのかを遊びの様子からご理解いただけたと思います。個々の遊びからお友だちとの遊びに変わってくる時期です。コミュニケーション能力も育んでいきたいと思います。



はとぐみ

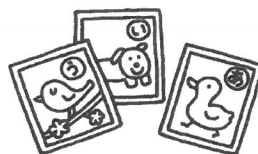
マラソンをしたり、お料理をしたり、舞台上一緒に踊ったり、親子でふれ合って過ごした1日になりましたね。特におうちの人と一緒に舞台上に立って踊ったことは印象に残ったようでした。踊りながらおうちの人を心配して、何度も後ろを振り返っているお子さんもいましたよ。

ももぐみ

いつもはできないことも、おうちの人とやることでいつも以上のパワーが出て、成功することが証明されましたね。歌もいつも以上に声が出ていて職員室まで聞こえてきました。また、素敵な花瓶もできて、後日得意そうな表情で見せてくれましたよ。

つきぐみ

盛りだくさんの内容でしたが、普段子どもたちが取り組んでいることを見ていただきました。年長らしい活動で、どれも真剣に向き合う子どもたちの姿に、成長を感じられたのではないのでしょうか。今つけている力は必ず今後役に立ってきます。遊びの中で身に付けた知力、体力、行動力をさらに育てるよう、保育していきたいと思います。



1月とは思えないほど暖かい日々が続き、毎日のように外遊びを満喫している子どもたちです。

さて、3学期のお約束は「自分の言葉でたくさん話す」にしました。思いはあっても、どう伝えたらいいのかわからずに黙ってしまう子どもが多いように感じていました。正しい言葉づかいはその後です。まずは「先生聞いて、昨日ね…」と話したい気持ちが先走り、感情がそのまま言葉になって出てくるようになることを願っています。

私たち保育士も、話しやすい環境(人)であり続けられるよう気持ちを新たに、子どもたちと向き合っていきたいと思います。

今年もよろしくお願いします。

ふれあいの日



お忙しい中をふれあいの日にお越しいただきありがとうございます。各クラスの様子はホームページに掲載していますが、ここでも少しお伝えします。

いすぐみ 体操や外遊び、給食の様子など、いつもと変わらぬ姿をご覧いただけたのではないのでしょうか。先生とのかかわりの中で様々な言葉を覚えました。その言葉を状況に応じて使えるようになってきました。生活や遊びの中で耳にした言葉をどんどん吸収する時期です。言葉だけではなく、行動も真似する時期です。ご家庭でもお子さんとの時間を楽しんでくださいね。

わけっこ はんぶんこ

最近、「はんぶんこ」という言葉を知らないお子さんが多くなりました。おやつは小袋を一袋、アイスやジュースも一人一つという家庭が増えているようです。子どもの頃に大袋一つを皆で分けた経験はありませんか？誰のが多い少ないでけんかをした経験はありませんか？これって重要な事だったのかもしれない。

ここには、様々な算数的思考が入っています。

- ①大量にある物をなんとなく目分量で同量になるように分ける
- ②目で見て何個ずつかを予想しながら分ける
- ③実際に分けてみて割り切れないことを知る(余りがある)
- ④余ったものをどうするか話し合う

普段の生活の中で算数の勉強ができます。この経験が小学校での学習につながります。数の大小や多少、分配などは日常生活の中に溢れています。

ふれあいの日で、アイスやバナナをわけっこして食べたはとぐみさん。バナナをわざと割り切れない数にして余りをどうするか考えてみても、面白かったかもしれませんね。

先日年長は、9個のお菓子を4人で分けて食べていました。4人の話し合いを聞いていると様々な意見が出ていました。ここで意見を言えるか、皆の意見にのるだけなのかで、話し合いに対する参加の仕方も分かります。最後の一つを4人で分けるという意見がほとんどでしたが、残りは先生にあげるというグループもありました。正解はありません。グループの皆が納得すれば正解です。今の授業は、答えを出すことよりも、どう答えを導き出すかを重要としています。考える力が求められています。「自分の考えや意見を自分の言葉で伝えられるようになること」を幼児期から身につけていきましょう。



ほけんだより

2月6日は風呂の日だそうです。様々な日付で制定されているようですが、この日は、日本のお風呂文化の魅力を多くの人に知ってもらうことを目的としているようです。今の若者は、お風呂離れが進んでいるようですが…。

毎日お風呂に入っていますか？寒いから、汗をかいていないからといって入らないという日もあるでしょう。しかし、子どもたちが健やかに成長していくためには、**身体の清潔を保つこと**は大事なことです。子どものうちに身体を清潔にする必要性と、具体的な方法を的確に指導して習得させておくことは、後々、大人になってからの生活習慣の自己管理能力に好影響を与えるそうです。

日々の洗面や手洗い、排泄後の処理など、子どもたちが自分でやっている「身体の各部位を清潔にすること」が、未熟で不十分であっても、1日の終わりに必ず入浴すれば、(口と耳の中以外は)ほとんど全身的に汚れを洗い流すことができます。そのためにも、病気の時以外はできるだけ毎日の入浴をお勧めします。自分で身体を洗えない幼児期は、親などの大人と一緒に入浴して洗ってもらいながら、入浴時の身体の正しい洗い方をマスターさせるといいですね。

身体を清潔にする効果

- ・血の流れをよくする。
- ・爽快感が得られる。
- ・皮膚の働きを助け、感染を防ぐ。
- ・睡眠を促す。

親子のお風呂の時間を大切にしてくださいね。